



白石川右岸河川敷等整備事業 おおがわら千本桜スポーツパーク

R4.6月



千本桜のまち
大河原に

河川敷MTBパーク

OGAWARA MTB
S-PARK
スパーク おおがわら千本桜スポーツパーク

誕生!

千本桜に会いに来て。
大河原町



大河原町地域整備課

白石川右岸河川敷等整備事業の概要

令和2年度に作成した「白石川右岸河川敷等整備事業基本計画」は、都市計画マスタープランにおいて白石川を中心とした水と桜のレクリエーション軸と位置付け、河川と桜の景観を活かした景観形成やレクリエーション拠点の整備をプロジェクトの目標に掲げ、宮城県と大河原町とのコラボ事業により作成しました。計画作成にあたっては、検討委員会を立ち上げ関係機関や公募の委員を募集し計画を作成しております。

基本計画では、子どもから大人までみんなが親しめる新たな賑わい空間の創出を目指したものとなっており、賑わい交流拠点施設の整備の方向性を示しています。

また、計画の作成には、宮城県の市町村振興総合補助金（市町村提案型）を活用し、さらに計画区域全体を河川法第24条による包括占用の許可を受け「おおがわら千本桜スポーツパーク」として都市公園に位置付け、部分的に供用開始しています。

基本計画の主な内容としては以下のとおりです

- ・堤防天端にサイクリング・ウォーキングロードの整備（整備済）
- ・高水敷上流部にマウンテンバイクパーク（S-PARK）の整備（整備済）
- ・県による親水護岸の整備（整備中）
- ・芝生広場やドッグランの整備（整備予定）
- ・高水敷下流部にパークゴルフ場（36H）の整備（整備中）
（公益社団法人日本パークゴルフ協会公認コース認定申請予定）
- ・腹付盛土部にトイレ棟駐車場整備（整備済）
- ・アクセス道路の整備（整備中）
- ・堤内地に賑わい交流拠点施設の整備（R3基本計画作成、R4基本設計・測量調査実施）



白石川右岸河川敷等整備事業（全体計画図）



R4.4月オープン
OCAWARA MITB
S-PARK
スポーツ

親水護岸整備中
(県工事)
(R4.7月完成予定)

芝生広場・ドッグラン
R4整備予定

賑わい交流拠点施設
R4 測量・基本設計中

パークゴルフ場36H
R4 整備中

駐車場
R4整備中

トイレ棟・駐車場
R4.4月 オープン

アクセス道路
R4整備中

サイクリング・ウォーキングロード
おおがわら桜ライン
R4.4月 全線開通



白石川右岸河川敷整備による新たな賑わい空間の創出と自転車の活用

令和4年4月、サイクリング・ウォーキングロード（おおがわら桜ライン）が全線開通し、お隣の柴田町から白石市まで白石川沿いに繋がりました。休日には多くの方がサイクリングやウォーキングを楽しんでいます。

また4月23日には、MTB パーク（OGAWARA MTB S-PARK（スパーク））もオープンし、週末には100人を超える家族連れなど、多くのサイクリストが訪れています。

コロナ禍や自転車ブームにより、自転車を活用したまちづくりに注目が集まっています。自転車は、気軽に始められるスポーツとしても人気が高く、大河原町がサイクリングロードやMTBパークを整備することにより、子どもから大人までみんなで遊べるフィールドが増え、新たな賑わい空間の創出と地域振興にも繋がるものと考えています。



週末多くの家族連れで賑わうS-PARK



サイクリングロード（おおがわら桜ライン）を走る子どもたち



MTB パーク構想ではクラウドファンディングを実施しました！

MTBパークの整備には、本町として初めてクラウドファンディングを実施し、目標金額の2倍以上となる6,265,000円の寄附をいただきました。寄附金は整備費用に充当しました。

実施期間：令和3年8月18日から10月15日

寄附者数：107名

寄附総額：6,265,000円

- ・返礼品（ギフト）として、町長・井手川プロ連名のサンクスレターの発送
- ・寄附金額に応じて、看板・パンフレットに名前を掲載



S-PARK内に寄附者の名前を掲示した看板を設置しました！

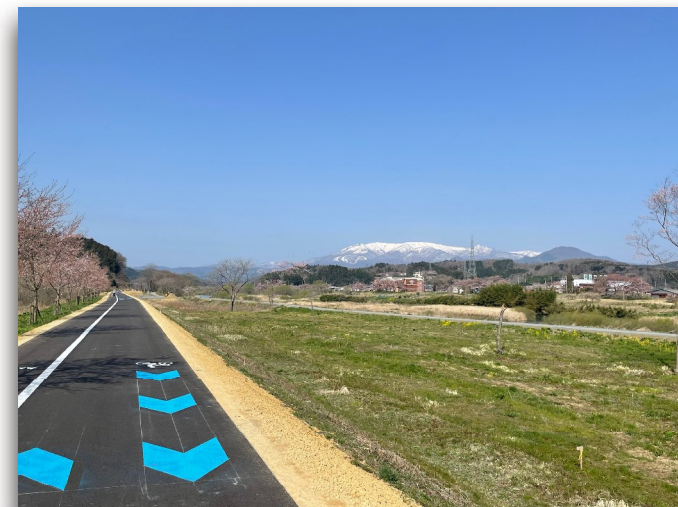
OGAWARA MTB S-PARK (スパーク) & 「おおがわら桜ライン」



4/23 オープンセレモニー



レンタル用 MTB



おおがわら桜ライン



MTBコース パンプトラック



週末のサイクリスト



おおがわら桜ライン

白石川右岸堤内地賑わい交流拠点施設整備基本計画の作成について

白石川右岸河川敷等整備事業基本計画において、Bゾーンは賑わいレクリエーションゾーンに位置付けられており、堤内地（田んぼ側）にストリートスポーツや管理棟、駐車場や広場などを整備する計画となっていますが、新たな位置付けとして”お花見ができる””夏の花火を見物できる”とした、これまでの桜まつり・夏まつり会場を移転することも踏まえた新たな賑わい空間整備を考えています。

白石川右岸堤内地賑わい交流拠点施設の基本計画作成においては、県の市町村振興総合補助金（市町村提案型：補助率1/2）を活用し、庁舎内プロジェクトチームによる検討会、広報誌による意見募集、住民説明会などを実施しR3.11月末で基本計画をまとめました。

なお、基本計画作成にあたっては、金ヶ瀬さくら大橋（町道上大谷線）から直接乗り入れが可能であるかどうか、また整備する施設にどのような機能を持たせるかなどが大きな観点となりましたが、令和4年度ではサウンディング市場調査や測量調査、基本設計等を行い、事業をより具体的に進めていきたいと考えているところです。



金ヶ瀬さくら大橋側から見る現在の堤内地①



金ヶ瀬さくら大橋側から見る現在の堤内地②

賑わい交流拠点施設整備イメージ（金ヶ瀬さくら大橋下流側から蔵王連峰）

基本計画鳥瞰図

